

第4回通常総会資料  
[第1号議案]

**特定非営利活動法人エーキューブ**  
**平成21年度 事業報告及び決算報告書**

期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日

平成22年5月26日

## 平成21年度事業まとめ（成果と総括）

今年度も会員のみなさまのご協力により、本会も業績を積み重ねることができました。みなさまのご支援に役員一同感謝を申し上げます。

事業のまとめといたしましては、仙台市との協働イベントや本会のホームページ、各種取材・広報誌を通し活動理念や事業内容について広く理解を得られ、結果として新規入会者が21名にものぼりました。

今年度は財政面の安定を保つ為、広報活動や募金活動に努め、賛助会員の団体登録制度を新たに設けました。また助成金申請においても積極的に取り組み、2団体からの大きな援助を得ることができました。

本会の基盤である訪問活動においては、常に安全な活動を維持すべく研修内容を充実させ、会員相互のスキルアップやレベルアップを図り、新旧会員の意思疎通やスキルの伝達によりチームワークの向上へつながりました。参加動物についても腸内細菌検査・口腔内検査を必須条件とすることにより、活動のレベルアップにつながりました。

また本会の動物介在活動（訪問活動）を希望され施設登録・待機されている各施設への連絡も行いました。

新規事業に関しては、まず「動物介在教育を新たな事業として再スタートさせること」の目標が達成され、本会独自の活動（仙台市内の児童館）と、動物管理センターとの協働での活動（仙台市内の小学校 11校）計12回を無事に安全に行う事が出来、新聞や市内の情報誌など、様々な取材を通してこの活動を広く一般にも知っていただくことができました。

次に「動物を介在した障がい者への支援事業の立ち上げ」については、対象を引きこもり・不登校の青少年に変更し、≪動物介在活動を応用した保護動物譲渡活動を通した不登校・ひきこもりの若者支援事業 通称:「グッドフレンズ・プログラム」事業≫をスタートさせることができました。また「専門学校生の実習の場の提供」も新たな訪問施設にて、実現することができました。

動物管理センターとの協働事業に関しましても、センター収容犬・猫の譲渡事業、災害時のペット同行避難をはじめとする防災関連事業、小学校における動物介在教育事業、その他動物愛護関連事業ほか、昨年以上に重点的に取り組み大きな成果を挙げることができました。

今年度大きなセミナーを4回開催し、本会について大きな期待を寄せられる中、今後とも本会の理念を主張しつつ、仙台市との協働事業や他の事業を発展させて参ります。

## 事業に関する報告

### 1. 動物介在活動・介在療法・介在教育並びに不登校に係わる事業

#### 《動物介在活動》

<b>施設名</b>	医療法人社団 初心会 社のホスピタル・あおば
<b>目的</b>	入院の対象者 15 名とデイケアの対象者 15 名の混在型に対し、動物とのふれあいを通して心身の活性化や情緒の安定を図り、日々の生活への意欲を引き出すなど、単調な時間になりがちな日常の中での楽しみや癒しとなることを目的としています。
<b>概要</b>	<p>〈実施日〉 全 7 回                      <b>対象者参加のべ人数 計 207 名</b></p> <p>① 5/20・対象者数：30 名・従事者数：7 名・犬：4 頭          ② 6/17・対象者数：29 名・従事者数：8 名・犬：4 頭          ③ 7/15・対象者数：30 名・従事者数：9 名・犬：4 頭          ④ 8/19・対象者数：30 名・従事者数：9 名・犬：4 頭          ⑤ 11/18・対象者数：30 名・従事者数：7 名・犬：4 頭          ⑥ 12/16・対象者数：30 名・従事者数：10 名・犬：4 頭          ⑦ 1/20・対象者数：28 名・従事者数：9 名・犬：4 頭</p> <p style="text-align: right;"><b>参加のべ数：従事者 59 名・犬 28 頭</b></p> <p>〈活動場所〉 社のホスピタル・あおば 1F ディルームにて</p> <p>〈活動内容〉前半後半 15 分ずつの 2 部制混在型の対象者と動物とのふれあいや参加動物のトリック披露、さらに参加スタッフとの会話や対象者参加のトリックを展開するなど、対象者それぞれの状態に応じた関わりが持てるような活動を心がけています。</p> <p>*トリック：活動参加動物の得意芸</p>
<b>成果</b>	<p>施設側スタッフと事前打ち合わせを行うことで、活動内容の確認や対象者の様子などを知ることができました。対象者個々の表情や行動について、日常と比較し心身の活性化がもたらす大きな違いについても施設側スタッフが認めるどころです。参加動物に対する本会の姿勢という点でも、回を重ねるごとに施設側からの評価が上がっていると感じられます。また参加会員においても、高齢者との会話やふれあいの技術は個々の努力や工夫により、確実にレベルアップが図れたと思います。同様にハンドラーも各自の犬に合わせたトリック内容に工夫が見られました。</p> <p>*ハンドラー：自身のペットを連れ活動に参加する会員</p> <p>※活動報告会実施 2/10</p>



<p><b>施設名</b></p>	<p>社会福祉法人 <b>なのはな会 知的障害者通所更生施設</b> <b>こまくさ苑</b></p>
<p><b>目的</b></p>	<p>参加動物・飼い主とスタッフが訪問し、知的障害者の方（全て成人）と約 30 分の時間を過ごします。身体や視覚・聴覚が不自由な方には施設担当者が付き添いながら、動物とのふれあいを楽しみます。職員の方と綿密な打ち合わせをしながら、対象者の状態（体力や視覚・聴覚・触覚・会話等）に合わせ、動物とのふれあいが対象者に無理なく良い刺激となるような活動を行うことを目的としています。</p>
<p><b>概要</b></p>	<p>〈実施日〉 全 4 回      <b>対象者参加のべ人数 計 24 名</b></p> <p>① 5/21・対象者数：6 名・従事者数：7 名・犬：3 頭      ② 6/18・対象者数：7 名・従事者数：8 名・犬：3 頭      7 月は施設側の都合により中止      ③ 8/20・対象者数：5 名・従事者数：10 名・犬：3 頭      ④ 10/15・対象者数：6 名・従事者数：7 名・犬：4 頭</p> <p style="text-align: center;"><b>参加のべ数：従事者 32 名・犬 13 頭</b></p> <p>〈活動場所〉 こまくさ苑 ゲンデルルームにて      〈活動内容〉 動物介在活動のふれあい活動</p> <p>昨年と同じくゲンデル（重度）の方を対象に、少人数でのゆったりとした活動を行いました。フロアでは車椅子の方 2 名、同室内にある座敷の畳部分では、座位やふれあいに介助が必要な方 5 名が参加、また以前体験したことのある軽度の方も自らふれあいを希望して参加するということもありました。一昨年活動の中で音楽でリズムに乗るのが好きなことが解り、参加型として歌に合わせてタンバリンやカスタネットと一緒に合奏を取り入れました。</p>
<p><b>成果</b></p>	<p>訪問の際、最後の合奏をとっても楽しみにしてタンバリンをたたき楽しそうにされていたり、視覚障害で話すことも歩く事も出来ない方が犬がボールキャッチしたときにその雰囲気を読み取り手をたたいて反応され、職員の方がこんな能力があったのかと驚かれたり、犬を優しくなでることでいつも受身の障がい者の方たちが、自分たちも相手にしてやれることがあるという自信が芽生えたようだとの感想をお聞きしました。</p> <p>2 2 年度の打ち合わせでも訪問活動がゲンデルの方たちにとって意義のある活動との評価を施設側でされ、継続してやっていただきたいとの要望をいただきました。</p> <p>※活動報告会実施 12/10      ※顧問獣医師の参加 8/20</p>

<p><b>施設名</b></p>	<p>認知症高齢者グループホーム <b>なんてん伊在荘</b></p>
<p><b>目的</b></p>	<p>認知症対応のユニット型（定員9名以内）のスペースが3ユニットある内、やまかぜユニットへの訪問。動物介在活動の訪問形態でふれあいや参加型のトリックなどを行うことで入居者の方の癒しや意識の活性化を図ることを目的としています。</p>
<p><b>概要</b></p>	<p> <b>&lt;実施日&gt; 全6回      対象者参加のべ人数 計55名</b>          ① 4/18・対象者数：8名・従事者数：7名・犬：4頭          ② 5/23・対象者数：9名・従事者数：6名・犬：3頭          ③ 6/20・対象者数：9名・従事者数：6名・犬：3頭          ④ 7/18・対象者数：9名・従事者数：6名・犬：3頭          ⑤ 10/17・対象者数：9名・従事者数：7名・犬：3頭          ⑥ 11/21・対象者数：11名・従事者数：6名・犬：4頭    <b>参加のべ数：従事者38名・犬20頭</b> </p> <p> <b>&lt;活動場所&gt;</b> なんてん伊在荘 やまかぜユニットにて  <b>&lt;活動内容&gt;</b> 動物介在活動のふれあい活動          対象者少人数のため訪問犬3～4頭       </p>
<p><b>成果</b></p>	<p>活動日が土曜ということで、普段仕事を持ち平日の活動になかなか参加できない会員が主に参加。必然的に参加犬が毎回ほぼ同じということで、施設職員から、対象者の方は活動後、すぐに犬が来たことを忘れてしまうと言われますが、次回訪問時には犬の名前を覚えていてくださる方がいたり、年度初めの訪問は初めて会った様にぎこちなかったふれあいが、回を重ねるごとに受け入れもスムーズになりなで方もゆったりとされるため、活動犬達ものんびりとした時間を共有することができました。また活動に際し、職員が対象者の方に犬が来ることや活動時の写真などを見せながら導入に積極的に働きかけて下さいました。</p> <p>今年度最後の活動には、他のユニットの方2名と職員の方も参加され、とてもなごやかで、楽しそうに過ごされていました。</p> <p>その事が次年度への参加希望につながりました。</p> <p>         ※活動報告会実施 3/29          ※顧問獣医師の参加 4月を除く全5回参加       </p>

<p><b>施設名</b></p>	<p>仙台市適応指導センター 児遊の杜</p>
<p><b>目的</b></p>	<p>不登校の児童生徒が犬の発信するボディランゲージや気持ちを受け取り、犬との信頼関係を徐々に築いていく様子を見守ります。他者との関係を構築することに不安を感じている児童生徒が犬をきっかけに会員と自然にコミュニケーションがとれるようになることや、複数の児童生徒が同じ空間で一緒に時間を共有することができるようになることを目的とします。</p>
<p><b>概要</b></p>	<p>&lt;実施日&gt; 全5回 児童・生徒参加のべ人数 計40名</p> <p>① 9/28 ・対象者数：10名・従事者数：6名・犬：3頭</p> <p>② 10/26 ・対象者数：10名・従事者数：7名・犬：3頭</p> <p>③ 11/18 ・対象者数：4名・従事者数：5名・犬：2頭</p> <p>12月は施設側の都合（日程調整困難）の為中止</p> <p>④ 1/22 ・対象者数：11名・従事者数：8名・犬：3頭</p> <p>⑤ 2/24 ・対象者数：5名・従事者数：5名・犬：2頭</p> <p style="text-align: center;"><b>参加のべ数：従事者31名・犬13頭</b></p> <p>&lt;活動場所&gt; 仙台市適応指導センター 児遊の杜3階教室にて</p> <p>&lt;活動内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●今年度で6年目の活動</li> <li>●先生との綿密な打ち合わせと児童生徒主体の日程調整を行います。</li> <li>●会員と一緒に暮らしている成犬を連れて数名のスタッフとともに訪問します（子どもに対して優しく接する事ができるペア厳選）</li> <li>●児遊の杜や杜のひろばの一人または複数の児童生徒に対応します。</li> </ul> <p>担当相談員の先生と一緒に児童生徒が入室し10分程度の犬とのふれあいを行ったり、小集団で過ごせる児童生徒にあわせた内容を数十分間展開したりします。</p>
<p><b>成果</b></p>	<p>今年度も施設所長様始め多くの先生方からご支援を頂き、連携を図ることにより、様々なケースに犬を介在させられることがわかり、今後の展開を考える上で大変勉強になりました。</p> <p>先生や相談員の先生方との密な打ち合わせにより児童生徒の個々の対応がますます柔軟になり、活動プログラムと一緒に考えていくことができ、様々な発展がありました。</p> <p>児童生徒が継続して参加することにより犬との絆を育むことができたことから、次の段階の活動に積極的に関わろうとする姿が見られました。会員や複数の児童生徒とのコミュニケーションの輪が広がっていき、犬から人、人から人へのリレーションシップが見られました。</p> <p>会員の努力と経験が実を結び、児童生徒との距離感を考えながら犬との絆を壊さないように配慮した活動ができたことが何よりでした。</p>

<p><b>施設名</b></p>	<p><b>小規模多機能型居宅介護 すけるん家上杉</b></p>
<p><b>目的</b></p>	<p>動物介在活動普及推進事業のひとつとして専門学校生を対象に、実習によって体感する場を提供することを目的としています。</p> <p>* 仙台市内の専門学校 動物衛生看護科アニマルセラピーコース 2年生の実習の場として提供</p> <p>* 学生達が一般ボランティアと一緒に活動を行うことにより、卒業後自分たちが作りあげていく活動のあり方がみえてくること、学生達が実施している動物介在活動へのヒントとなるであろうことを目的とした活動</p>
<p><b>概要</b></p>	<p>&lt;実施日&gt; 全5回 対象者参加のべ人数 計77名</p> <p>① 4/22 ・対象者数：8名・従事者数：9名・犬：3頭 ※学生の参加なし</p> <p>② 5/18 ・対象者数：18名・従事者数：9名・犬：3頭 ※学生6名参加</p> <p>③ 6/8 ・対象者数：14名・従事者数：6名・犬：2頭 ※学生4名犬1頭参加</p> <p>④ 7/6 ・対象者数：16名・従事者数：10名・犬：4頭 ※学生5名参加</p> <p>⑤ 8/3 ・対象者数：21名・従事者数：9名・犬：3頭 ※学生1名参加</p> <p style="text-align: center;"><b>参加のべ数：従事者43名・犬15頭</b></p> <p>&lt;活動場所&gt; すけるん家上杉2階ホールにて</p> <p>&lt;活動内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●犬を連れて訪問する動物介在活動</li> <li>●学生アイデアを取り入れたプログラムを実施</li> <li>●活動後に学生との交流（専門学校校舎5階） 全2回 <ul style="list-style-type: none"> <li>①5/18 従事者数：5名・犬：2頭 ※学生6名参加</li> <li>②7/6 従事者数：9名・犬：4頭 ※学生5名参加</li> </ul> </li> <li>●施設との活動報告会 3/17</li> </ul>
<p><b>成果</b></p>	<p>回数を追うごとに活動に慣れていく学生たちが頼もしくなっていました。事前によく検討された配慮等については、私たちにとっても学ぶべきものが沢山ありました。</p> <p>専門学校側からも「学生達のみでの活動は定期的には実施していたが、一般の方と連携をとりながら実施するのは初めてで、とまどうこともあったがよい社会勉強となった。活動に深みが出始め、自分達の活動に対しての取り組み方に変化が現れ、最後は自分達が社会に出たらどのように活動に係っていくかという話題になり、ボランティアさん達の姿は良いお手本になったようだ」との報告がありました。</p> <p>本会の活動としても、定番化していたものが若い力を感じ、新しいアイデアや視点を取り入れることができ良い刺激となりました。今後も何らかの形で学生達を受け入れて一緒に勉強していきたいと、会員達の活動意欲にもつながりました。</p>



## ≪その他の動物介在活動≫

### ① 犬とのふれあい体験イベント「犬と遊ぼう」の実施（仙台市協働事業）

目的：犬を飼っていない小学生以下の子どもと親を対象に、人のパートナーとしての犬を通して命というものを体感する場を提供することを目的としています。

概要：〈実施日〉 全2回 対象者参加のべ人数 計21組 51名

- ①7/27 参加親子 11組 エーキューブ従事者数：11名・犬：4頭  
（動物管理センター9名 犬3頭・猫2頭）
- ②8/ 1・参加親子 10組 エーキューブ従事者数：14名・犬：5頭  
（動物管理センター6名 犬1頭・猫2頭）

エーキューブ参加のべ数：従事者25名・犬9頭

〈活動場所〉 仙台市動物管理センター 多目的ホール

〈活動内容〉 どちらも1時間半の活動で、犬との正しい挨拶の仕方や、犬に会ったときにしてはいけないことを紹介し、犬とふれあったり、センター芝生内を一緒に散歩したりするなどの体験を行いました。散歩体験では、犬にリード（引き綱）を2本つけることで、リーダーウォークと安全を確保しました。子供たちは自由に好きな犬の所へ行き、ふれあいや散歩をしたり、おやつをあげたりします。その後、犬と一緒にゲームをし、最後に思い出として、みんなで大きな七夕飾りを作りました。

成果：①②とも、エーキューブ・動物管理センターとの協働事業で、今回で通算18回の活動となりました。犬が苦手な子どものために犬のぬいぐるみを用意し、センターからは猫も参加しました。また今回はふれあいの中でテーマをもって犬を観察したり、犬のお世話についてハンドラーから話を聞いたりして、子ども達が犬や猫をより一層身近に感じる事が出来るよう配慮しました。

どちらの活動も、企画の段階から関わり、安全かつ充実した活動へのレベルアップにつながりました。

\*ハンドラー：自身のペットを連れ活動に参加する会員

\*サポーター：ペットを連れずに活動に参加する会員

《動物介在療法》

<p><b>施設名</b></p>	<p>医療法人社団 清山会 いずみの杜診療所</p>
<p><b>目的</b></p>	<p>通常のリハビリテーションのプログラムに動物を介在することにより、リハビリテーションに対する意欲を高め、楽しみながら心身機能が向上する事を目的とします。</p>
<p><b>概要</b></p>	<p>〈実施日〉 全8回 (2クール)                      対象者参加のべ人数 計8名</p> <p>① 9/ 9・対象者数：1名・従事者数：8名・犬：2頭          ② 9/16・対象者数：1名・従事者数：7名・犬：2頭          ③ 9/23・対象者数：1名・従事者数：7名・犬：2頭          ④ 9/30・対象者数：1名・従事者数：7名・犬：3頭          ⑤ 12/ 9・対象者数：1名・従事者数：5名・犬：1頭          ⑥ 12/14・対象者数：1名・従事者数：5名・犬：1頭          ⑦ 12/18・対象者数：1名・従事者数：6名・犬：1頭          ⑧ 12/23・対象者数：1名・従事者数：5名・犬：1頭</p> <p>※7月の1クール(7/22, 29, 8/5, 12)は施設側の都合で中止。</p> <p style="text-align: center;"><u>参加のべ数：従事者50名・犬13頭</u></p> <p>〈活動場所〉 いずみの杜診療所デイサービスホールにて          〈活動内容〉 心身の活動性や身体の柔軟性、バランス能力の向上を目的とした、3、4種のプログラム（例：身体の柔軟性の向上を図るために犬の背中を左右に大きく撫でる）を約30分間行います。          ＊トリック：活動参加動物の得意芸          ＊ハンドラー：自身のペットを連れ活動に参加する会員</p>
<p><b>成果</b></p>	<p>心身の活動性や身体の柔軟性、バランス能力等を評価する指標を考案し、実施前後で比較したところ、殆どの項目について向上がみられ、特に第1クールでは活動時以外でも、日常生活の中での変化もみられました。例えば、実施前には左手はあまり使用しなかったのですが、食事の際に自然に左手で茶碗を持つ等の動作が見られるようになりました。第2クールでは、体調の変化もあり、第1クール程の変化はみられませんでした。クリスマスシーズンであり、職員とクリスマスカード作りにも取り組まれ、動物介在療法に乗じて、日常の活動性を上げる事ができました。</p>

## 《動物介在教育》

人と動物がふれあうことによる効果の普及・啓発を子どもへの命の大切さを伝える体験学習の実施等、近年の認識の高まりによるニーズに答えるために、動物介在活動普及推進事業として仙台市動物管理センターが毎年開催。エーキューブも協働事業として取り組んでいます。

### ① 動物介在教育セミナー

「子どもと動物の関係」～今、なぜ動物介在教育が注目されるのでしょうか～

実施日：12/25 実施場所：仙台市動物管理センター 参加者 30名（デモ犬2頭）

講師：(社)日本動物病院福祉協会顧問・赤坂動物病院院長 柴内裕子先生

内容：\*第1部 一般公開講座（基礎編）

\*第2部 エーキューブ会員限定レベルアップ講座

前半はAAEの基礎についてのご講義、後半の会員対象セミナー（前半からの参加者も聴講）では、「なぜ動物との関わりに注目するか」「ハワイ軍人病院での柴内先生のAAT見学報告」など、より実践的なご報告をいただきました。AAEの実践を通して新たな疑問を感じた本会会員の質問についても柴内先生から具体的にアドバイスをいただくことができました。セミナー会場にエーキューブ活動犬がいることにより、会場の雰囲気が和んだり、活動犬の紹介などを通し訪問活動の雰囲気・ハンドラー・スタッフなどの様子なども参加者を感じていただくことができました。

### ② 実践（「かほく108ファンド助成対象事業」 全12回）

#### A. 鶴巻児童館 1回 対象児童：17名

実施日：8/26 実施場所：鶴巻児童館 対象児童：17名（小学1年生～3年生）

参加会員数：9名・参加動物数：犬3頭

#### B. 市内小学校 11校（動物管理センター協働） 対象児童：計620名

##### 1. 仙台市立住吉台小学校 実施日：10/5 実施場所：仙台市立住吉台小学校体育館

対象児童：1年生64名 特別支援学級2名 計66名

参加会員数：12名・参加動物数：犬5頭 + 学生4名

動物管理センター参加数：6名・参加動物数：犬3頭

##### 2. 仙台市立東六郷小学校 実施日：10/22 実施場所：仙台市立東六郷小学校体育館

対象児童：1年生4名 2年生7名 特別支援学級3名 東六郷幼児学園11名 計25名

参加会員数：10名・参加動物数：犬3頭

動物管理センター参加数：4名・参加動物数：犬2頭

##### 3. 仙台市立南吉成小学校 実施日：11/10 実施場所：仙台市立南吉成小学校体育館

対象児童：1年生87名 特別支援学級2名 計87名

参加会員数：10名・参加動物数：犬5頭 + 学生5名

動物管理センター参加数：5名・参加動物数：犬4頭

##### 4. 仙台市立東仙台小学校 実施日：11/30 実施場所：仙台市立東仙台小学校体育館

対象児童：1年生59名 特別支援学級1名 計60名

参加会員数：12名・参加動物数：犬4頭 + 学生4名

動物管理センター参加数：4名・参加動物数：犬2頭

**5. 仙台市立市名坂小学校** 実施日：12/3 実施場所：仙台市立市名坂小学校体育館

対象児童：1年生 87名 特別支援学級 2名 計 89名

参加会員数：13名・参加動物数：犬 6頭

動物管理センター参加数：5名・参加動物数：犬 3頭

**6. 仙台市立根白石小学校** 実施日：12/17 実施場所：仙台市立根白石小学校体育館

対象児童：1年生 13名 2年生 21名 計 34名

参加会員数：11名・参加動物数：犬 4頭

動物管理センター参加数：3名・参加動物数：犬 2頭

**7. 仙台市立川平小学校** 実施日：1/21 実施場所：仙台市立川平小学校体育館

対象児童：1年生 80名 計 80名

参加会員数：14名・参加動物数：犬 6頭

動物管理センター参加数：4名・参加動物数：犬 2頭

**8. 仙台市立虹の丘小学校** 実施日：1/28 実施場所：仙台市立虹の丘小学校体育館

対象児童：1年生 39名 特別支援学級 1名 計 40名

参加会員数：12名・参加動物数：犬 3頭

動物管理センター参加数：5名・参加動物数：犬 3頭

**9. 仙台市立秋保小学校** 実施日：2/8 実施場所：仙台市立秋保小学校体育館

対象児童：1年生 12名 2年生 7名 特別支援学級 1名 計 20名

参加会員数：12名・参加動物数：犬 3頭

動物管理センター参加数：5名・参加動物数：犬 3頭

**10. 仙台市立小松島小学校** 実施日：2/19 実施場所：仙台市立小松島小学校体育館

対象児童：1年生 74名 計 74名

参加会員数：11名・参加動物数：犬 6頭

動物管理センター参加数：5名・参加動物数：犬 3頭

**11. 仙台市立野村小学校** 実施日：3/3 実施場所：仙台市立野村小学校体育館

対象児童：1年生 8名 2年生 8名 計 16名

参加会員数：13名・参加動物数：犬 4頭

動物管理センター参加数：4名・参加動物数：犬 3頭

《動物介在活動ボランティアセミナー（仙台市協働事業）》

実施日：6/22 実施場所：仙台市動物管理センター 参加者 82名

○ “児童期・青年期のころについて”

講師 宮城教育大学教職大学院特別支援教育総合研究センター 教授 佐藤静氏

○ “動物介在活動の意義と課題”

講師 横浜国立大学人間科学部大学院環境情報研究院 教授 安藤孝敏氏

従事者数：23名

## 《訪問活動のための自主研修》

実施回数：全6回 実施場所：仙台市動物管理センター 12月は仙台市内

実施日：5/26（火） 6/24（水） 7/24（金） 8/27（木） 12/19（土） 3/30（火）

参加のべ数：会員68名・犬39頭。 ※5・6・7・8月は顧問獣医師参加

内容：訪問活動の報告や、次回の参加に向けそれぞれの活動ペアに合わせたふれあいやトリックの披露など、互いに意見を出し合い向上を図っています。訪問活動に参加しようと思う意欲を失わないよう楽しく、和やかに研修しながらも、危機管理・緊張感を持って参加しています。今年度は顧問獣医師にも参加頂き、活動参加犬のための腸内細菌検査・口腔内検査の実施や、個々のペアについてのアドバイスを頂くことができ、会のレベルアップにつながりました。また今年度よりセンター譲渡犬及び一般市民とその飼い犬が参加できる「わんこ育て支援サロン」を開始し、6月に1名1頭の参加がありました。

\*トリック：犬の得意芸

## 《その他 研修・視察》

- ① J-HABS夏季スクーリング 2級コース聴講（東京会場）  
実施日：8/1 実施場所：日本ペット&アニマル専門学校 参加者数：1名
- ② J-HABS夏季スクーリング 1級・マスターコース聴講（東京会場）  
実施日：8/2 実施場所：日本ペット&アニマル専門学校 参加者数：1名
- ③ 長野県動物愛護センター ハローアニマル見学  
実施日：8/7 実施場所：長野県 参加者数：1名
- ④ 動物介在教育見学  
実施日：10/6 実施場所：仙台市黒松小学校 参加者数：1名
- ⑤ J-HABS冬季スクーリング 1級・マスターコースでの講師・参加（東京会場）  
実施日：2/7 実施場所：日本ペット&アニマル専門学校 参加者数：2名
- ⑥ 第12回人と動物の共生を考える公開セミナー  
実施日：2/11 実施場所：エル・パーク仙台 セミナーホール 参加者数：6名

## 《不登校に関わる事業》

### 1. 不登校支援ネットワーク活動に参加

仙台市における不登校の児童生徒・保護者への支援を行うために、仙台市適応指導センターが中心となって、賛同する多方面の立場の力が結集。それぞれの特性を生かし様々な課題の解決に協力し、子どもたちの健やかな成長を支えます。

- ① 平成21年度不登校支援ネットワーク第1回運営会議  
実施日：5/20 実施場所：仙台市役所上杉分庁舎 参加者数：2名
- ② 平成21年度不登校支援ネットワーク懇親の集い  
実施日：5/20 実施場所：仙台市内 参加者数：1名
- ③ ボランティア養成講座  
実施日：6/20 実施場所：仙台市適応指導センター 参加者数：1名  
内容：仙台市適応指導センターが、不登校について理解し児童生徒の心理に沿った支援を考えている方々を対象に定期的に開催。同センターへの訪問活動参加会員が継続し受講。

- ④ 平成21年度不登校支援ネットワーク第1回ワーキング  
 実施日：6/20 実施場所：仙台市適応指導センター 参加者数：2名  
 内容：仙台市適応指導センターが、不登校の子供たちの理解を深めていただく機会として開催。適応指導センター相談員が下記のテーマで話題を提供しました。  
 適応指導教室「杜のひろば」での生活 ～通級する児童生徒の事例から～
- ⑤ 平成21年度不登校支援ネットワーク公開研究会 不登校支援と体験活動  
 実施日：12/ 5 実施場所：旭ヶ丘市民センター 大ホール 参加者数：2名  
 内容：活動の紹介と参加企業の活動報告及び次年度の課題を見出す研究会を研修。
- ⑥ 不登校支援ネットワークへ2009年度活動報告書提出（3月）  
 内容：今年度の訪問活動実施報告と今後の課題を明記した報告書を提出。

今年度は6年目の取り組みとなりました。運営委員会や活動報告会に参加させていただくことで、賛同する様々な分野の方々との交流も広がり、不登校問題を広い視野で捉えることができました。また、社会的自立への支援が必要となっていることを実感し、今後の活動において本会の活動の大きなテーマのひとつである「グッドフレンズ・プログラム」の展開に至る事が出来ました。

## 2. その他 不登校に関する研修会等への参加

- ①「不登校への対応に関する実践研究報告&シンポジウム」受講  
 実施日：6/20 実施場所：みやぎNPOプラザ 参加者数：1名
- ②はーとぽーと仙台主催の講演会「ひきこもりって何だろう？」受講  
 実施日：6/20 実施場所：エル・パーク仙台6階ホール 参加者数：1名
- ③第34回フリースクール合同親の会 聴講  
 実施日：8/23 実施場所：みやぎNPOプラザ 参加者数：2名
- ④講演会受講「第4回「不登校の早期対応について」受講  
 実施日：8/29 実施場所：みやぎNPOプラザ 参加者数：1名

## 2. 動物の防災及び被災動物の救護に係わる事業

2005年に仙台市総合防災訓練初の「ペット同行避難訓練」に参加をして5回目を迎えた今年度は、行政や防災関係者だけでなく、マンション管理組合や町内会の方々にも意識として浸透しつつあることを実感しました。来年度の方向性としては、「ペット同行避難」の啓蒙を更に進めるべく地域のイベントなどに参加し、飼い主を含めた地域住民に働きかけることで地域全体での具体的な取り組みを考えていただくきっかけを作っていきたいと考えます。

### 《平成21年度仙台市総合防災訓練参加（仙台市協働事業）》

実施日：6/12 実施場所：泉区  
 従事者数：14名 従事動物数：犬4頭 ラジオ取材2名  
 内容：緊急時伝達訓練、ボランティア受付訓練、ペット救護所での預け入れ・受付訓練、防災に関する展示パネルの説明、啓蒙パンフレット配布、防災グッズ（ペット用避難袋）の展示・説明、ペット同行避難の市民の意識調査実施（回収＝163名）

○「ペット同行避難」

災害時にペットも家族と一緒に避難できるよう、「ペットと一緒に避難するために」  
「猫のクレートトレーニング」の防災小冊子を作成。一般市民に広く配布し、啓蒙活動に努めました。

○「防災グッズの内容の再検討及び展示啓発の推進」

動物管理センター内で常時設置、防災出前講座や、各展示ブースでも設置し、ペットの防災について一般市民に広く知ってもらうことができました。

○「緊急時伝達訓練」

総合防災訓練当日の訓練内容と結果を動物管理センターに報告しました。

- ・安否確認訓練（事務局長→県内在住会員 44名中 18名より返信有）
- ・緊急連絡訓練（事務局長→県外在住会員 7名中 2名より返信有）

※2/28に全国的に大津波警報が発動され、警報解除まで理事が待機しました。動物管理センターへの待機報告及び会員への安否確認連絡や万一の救護所設置に備えました。

●平成21年度仙台市総合防災訓練調整会議参加

実施日：5/23 実施場所：仙台市泉区役所 参加者数：1名  
内容：今年度の防災訓練重点項目確認及び参加団体の情報交換等

●平成21年度仙台市総合防災訓練報告会参加

実施日：7/29 実施場所：仙台市泉区役所 参加者数：1名  
内容：今年度の防災訓練参加団体からの報告及び情報交換等

≪災害時のペット防災出前講座≫

災害時の動物愛護対策に関する普及啓発活動等の実施を目的とし、仙台市動物管理センターと協働で地域のペットの防災についての啓蒙活動を行いました。

災害時、家族の一員として共に暮らすペットは飼い主と一緒に避難することを市民の皆さんに周知し、そのために必要な日頃の準備を具体的に示す（動物の避難袋の紹介、排泄やケージインなど最低限のしつけの必要性など）ことで、動物の命を守り、避難所に快く迎え入れてもらえることを発信することができました。

①六郷地区防災事業「あなたのペットは大丈夫？」講師（仙台市協働事業）

実施日：5/30 実施場所：六郷市民センター

従事者数：4名 従事動物数：犬1頭 受講者：9名（犬3頭）

内容：昨年1月に六郷小学校学区指定避難所開設訓練「ペット同行避難」を実施。今回は第2弾。

「ペットと一緒に避難するために」冊子に沿っての説明、ペット情報

カードの記入方法説明。ペット用避難袋の説明や同行避難するためにケージ・クレートトレーニングの方法。また「オイデで必ず来てくれる犬にするために」のデモンストラクション。最後に参加者からの質問も受けました。

②青葉区婦人防火クラブ集会にて防災講座 講師（仙台市協働事業）

実施日：6/3 実施場所：青葉消防署7階講堂

従事者数：4名 従事動物数：犬2頭 受講者：34名

内容：災害に備える室内飼育・マナー・しつけ、ペット情報カード・避難袋・備蓄品

準備など、パワーポイントにて「ペットと一緒に避難するために」の説明をしました。

### 《自然災害時の緊急連絡対応》

2/27 南米チリ中部で発生した大地震に伴い、2/28 に太平洋の広い範囲で津波警報が発令されました。宮城県、仙台市域でも 28 日朝に大津波警報発令、8 市 7 町で避難指示・勧告があり、本会も不測の事態に備え、動物管理センターに災害時待機連絡の上、理事数名が待機致しました。会員へは後日会からの定期発行物にて、①上記報告 ②27～28 日の周辺地域の様子、動向、ペットの様子他、気がついたことを報告頂くよう呼びかけ ③自然災害発生時には、必要に応じて会員に安否確認メールを送信する場合もあること、その際は被災状況・近隣や飼育動物の様子も含めお知らせ頂くこと、状況によっては災害時動物救護所の設置他、協力要請連絡をするため、被災地域以外からの協力も必要になることを伝え、避難ルートの確認や、人間&ペット用避難袋の準備についても再度呼びかけました。

## 3. 人と動物の関係に係わる支援事業

《不登校・ひきこもりの青少年に対して譲渡候補の犬・猫を介在させた活動を行い、心の支援を図る事業 通称：「グッドフレンズ・プログラム」の開始》

今年度は「みやぎNPO夢ファンド（C）スタートアップ支援プログラム  
平成21年度助成事業」として実施しました。

### 【事業目的】

仙台市動物管理センターの譲渡候補犬を介して、こころに不安や悩みを抱えた不登校・ひきこもり青少年の「共感力」を育み、社会参加を促します。且つ、社会経験の機会が乏しい彼らが、社会復帰した時にぶつかる壁を乗り越えられるような「強い心」を育て、挫折したときに戻って来られる「心のよりどころ」となるような活動を目指します。また、保護動物においても彼らと接することで、「安心感」「信頼感」を取り戻すことが出来るように導いていきます。

更に社会の現状を把握し理解するために研修やセミナーなどを開催し、広報・普及・啓蒙活動を行いました。

【事業報告】上記目標に合わせ、下記の活動を通年で行いました。

- ・仙台市動物管理センターとの話し合い
- ・支援団体への働きかけ
- ・「グッドフレンズ・プログラム説明会」実施（6・7月）実施場所：動物管理センター  
実施日：6/22 従事者人数：23名 実施日：7/1 従事者人数：7名
- ・「グッドフレンズ・プログラム 公開プレゼンテーション」 仙台市適応指導センター  
実施日：8/6 従事者人数：4名・従事犬数 1頭
- ・「グッドフレンズ・プログラム公開セミナー」実施（9月・3月）  
実施日：9/2 実施場所：仙台市市民活動サポートセンター 講師：横山章光先生  
従事者人数：22名・従事犬数 1頭  
実施日：3/16 実施場所：みやぎNPOプラザ 講師：佐藤静先生・横山章光先生  
従事者人数：18名
- ・各種勉強会・研修会への参加
- ・各対象者のプログラム検討
- ・各対象者の活動の実施・継続
- ・アドバイザーを交えてのディスカッション
- ・関係団体からの相談・問い合わせ対応
- ・中間報告書・最終報告書提出
- ・プログラムの基本要領書作成 及び経過に合わせたプログラムの見直し



## 《その他、人と動物に係わる支援事業》

①仙台市適応指導センター生徒の動物管理センター見学・職場体験対応協力

実施日：11/5 実施場所：動物管理センター 従事者人数：8名・従事犬数 1頭

内容：『職員の働く様子や施設の見学などを通して、動物管理センターの働きについて学ぶ、職員とのかかわりや動物とのふれあいを通して、人とかかわりを深めるとともに自立心を養う』という参加側のねらいのもと、職場見学を体験する児童生徒に対して、施設の説明・見学と譲渡犬・猫とのふれあいの補助をしました。

(譲渡候補犬:3頭 猫:1頭)

②情報誌の取材対応

実施日：1/9 1/16 2/19 3/10 実施場所：仙台市動物管理センター・市内小学校

内容：仙台の情報マガジン「街ナビプレス」による仙台市動物管理センターの取材にあたり、成犬譲渡会・子犬譲渡会・譲渡会前のグルーミングの様子・小学校への動物介在教育など、動物管理センター協働事業について取材を受け、対応しました。

③ラジオ取材対応

内容：FM放送にてエーキューブの活動が紹介されるにあたり、昨年2/26より定期的に理事が交代で収録（電話取材）に応じ、3/7より約1年に渡り放送されました。仙台ではFMいずみにて午後4時～5時55分「石塚恵子のSomething 4 Saturday♪」の中で5分～10分間放送。会の紹介、仙台市との協働事業、ペットの防災、譲渡事業、適正飼養、動物介在活動他、幅広く紹介しました。

④楽天球団からのイベント問い合わせ対応（仙台市協働）

実施日：2/17 実施場所：仙台市動物管理センター

内容：楽天イベント会場にてイベントの協力要請に対応しました。今後の内容検討のために2/19市内小学校AAEの見学についても対応しました。

⑤支援物資の問い合わせ・申し出対応

内容：本会の活動に賛同された一般市民・保護動物支援団体・企業等より寄付や物資支援のお申し出や問い合わせを頂き、支援して頂いた方の意向に沿って物資を使用、又は必要な物品購入等を行いました。

## 4. 動物愛護啓発に係わる事業

### 《マナーアップ啓発パンフレットの配布》

実施日：4月中の狂犬病予防接種会場 10箇所 従事者のべ人数：54名・従事犬数のべ6頭

内容：狂犬病予防接種会場にて、犬連れの方に「全国一斉！クリーン作戦」の冊子と糞取り用のビニール袋を配布し、飼い主のマナーアップ啓発を呼びかけました。

また機会のあるごとに同冊子を配布し、通年での呼びかけを行いました。

### 《犬譲渡事業への協力（仙台市協働事業）》

前年度に引き続き、より良い譲渡方法を模索するため、仙台市動物管理センターが成犬譲渡会（K9オーナー募集説明会）を定期開催、また今年度新たにセンター譲渡犬の同窓会を開催し、エーキューブも協働事業として取り組みました。

\*譲渡会での譲渡頭数 成犬 73頭 子犬 17頭

\*譲渡会以外での譲渡頭数 成犬 18頭 子犬 7頭

定期的な譲渡会の開催で、譲渡頭数が増えたことにより処分数が減りました。シッターの譲渡会参加で、候補犬の良さをよりアピールできたことも譲渡犬数アップにつながったと思われます。平成21年度センター譲渡犬頭数は115頭でした。この中には譲渡会以外にも足しげく通われた新たな飼い主さんに引き取られていった犬も含まれています。会員のシッター参加回数も大幅に増え、心のこもったシッターの活躍により、候補犬の犬質もアップし、安定した譲渡頭数維持につながりました。

①成犬譲渡会 全6回 (参加 計151組364名)

実施日：5/16・7/11・9/12・11/14・1/16・3/13

従事者のべ人数：54名・従事犬数のべ6頭

内容：成犬譲渡候補犬の汚れ等をチェックし、新しく家族として迎え入れられる様にします。シッター・グルーミングにて感じたことを適切な譲渡希望者へアピールします。譲渡犬を迎える準備等をセンター譲渡出身犬を実際に見ていただき説明します。

②子犬譲渡会 全2回 (参加 計69組152名)

実施日：11/7・1/9 従事者のべ人数：12名

内容：子犬が新しい家族に迎え入れられるようアピールし子犬と暮らすための準備等の説明をします。

③譲渡講習会 全8回 (参加 計220組516名)

実施日：5/16・7/11・9/12・11/7・11/14・1/9・1/16・3/13

従事者のべ人数：66名・従事犬数のべ6頭

内容：成犬譲渡候補会並びに子犬譲渡会にて、犬を家族に迎える準備や褒めてしつけること、譲渡犬との暮らしについて等、具体的に説明します。

④K9 (ケイナイン) ファミリー同窓会 全1回 (30組62名30頭の参加)

実施日：9/26 従事者人数：7名・従事犬数 1頭

内容：平成20年度に家庭犬となった元譲渡犬とその犬の家族による同窓会を、適正飼養ミニ講習会・マナーアップゲームなどの内容で開催しました。

⑤譲渡候補犬のシッター・グルーミング・治療補助

実施日：4/1～3/31の平日 9時～17時まで 通算159回実施 (前年+19回)

従事者のべ人数：417名 (前年+85名)

内容：定期的なシッター及び譲渡会開催前にグルーミング (動物のシャンプー・カット等のお手入れ) を行っています。

⑥K9 (ケイナイン) シッター説明会 全9回

新規受講者数：22名・従事者数のべ17名

譲渡候補犬のお世話を担当するボランティアをシッターと呼びます。希望する会員に対して、犬が人に対して失った信頼を回復させるために、優しくかつ継続して接することが大切という共通理解を持って頂き、仙台市動物管理センターの基本的な考え方を理解して活動できるように事前に研修します。シッターに心を寄せてくるようになるまで時間はかかりますが、いろいろな関わりの中で、個々の犬の魅力が引き出され、結果的に譲渡される頭数が増えました。ポイントをよく理解してから接して下さったので、特に大きな問題点は出ませんでした。

内容：★環境省作成のDVDの一部を研修 (犬の適正やボディーランゲージなど)

★シッター業務に関わるにあたって (守秘義務や安全なハンドリング、衛生面など)

★施設見学 (通常は動物管理センターの先生が施設案内をしますが、センターの許可をいただきエーキューブ担当者が行う場合もあります。)

★連絡方法 (参加日程など) の確認 などを研修しました。

<活動場所>①～⑥すべて仙台市動物管理センター

## 《猫譲渡事業への協力（仙台市協働事業）》

昨年度仙台市動物管理センターの成猫譲渡会が開催され、エーキューブも協働事業として取り組みました。今年度は試行的に猫譲渡会を開催しないとのことで、直接の協力参加はありませんでしたが今後も子猫・成猫の処分数を減らすために、完全室内飼いを強く推し進め、成猫の譲渡が安定していくよう協力していきます。

## 《新規事業「わんこ育て支援サロン」（通称：わん育サロン）の構築・開始》

本会の定款第2章（「動物愛護法に基づいた適正飼養の指導・啓発を行うこと」を通して、人と動物が幸せに暮らせる地域社会を構築することにより社会に寄与する）を基に以下を目的として開始しました。

- ①犬の飼育について悩んでいる一般市民が、気軽に参加できるサロン形式で会員との交流を通して犬と楽しく暮らせるように考える場を提供する。
- ②犬の問題行動について仙台市動物管理センターへ相談する窓口（センターが対応してくれることを広報）となる。
- ③本会の事業に対する協力又は入会をしていただく。

＜わんこ育て支援サロン実施＞

実施日：6/24      従事者人数：15名・従事犬数 11頭

## 《動物愛護に関する活動》

- ①動物愛護週間記念行事 動物慰霊祭及び市民講演会開催への協力（仙台市協働事業）

実施日：9/27      実施場所：福祉プラザ      従事者数：7名

内容：第1部 動物慰霊祭

動物の御霊を慰めるために毎年開催。慰霊の詩の朗読・黙祷・献花。

展示ホールに於いて、動物介在教育を受けた子どもたちの絵や感想・ペットの防災に関するパネルや防災グッズの展示を行いました。

第2部 動物愛護講演会

演題：「いつ迎えにきてくれるの？」

講師：ペットロス・パラウンセラー・獣医師・小説家 悠崎仁氏

- ②仙台市動物愛護協議会への参加（傍聴）

実施日・場所：3/18（仙台市役所）      全1回      参加者数：5名

内容：「人と動物が共生するまちづくり」を目指し、動物の愛護及び適正な飼養を図るための根本的な対策を検討するために定期的に開催される公開会議。協議委員は、動物愛護団体、ボランティア、地域住民、獣医師、動物取扱業者などから構成され、エーキューブ副理事長も協議委員として参加。会員も傍聴参加しています。

- ③オンリーわんフェスタ2009開催協力（仙台北法人会・仙台市協働事業）

実施日：9/20      実施場所：勾当台公園      従事者数：22名      従事動物数：犬7頭

内容：＜エーキューブブースにて＞

ペットのトイレマナートレーニングコーナー・いまどきのお散歩マナーコーナー  
設置      最近のペット事情パネル展示      ペット用避難袋展示&説明

＜一番町・中央通アーケードにて＞

犬と街中ウォーク～あなたもお散歩名人になろう～ デモンストレーションと  
マナーPR

④『仙台ペット連れマップ』でのペットの防災PR

内容：昨年「ペット連れで楽しめるまち！仙台」をコンセプトに、仙台市内の動物専門学校4校の学生ボランティアと一緒に製作（「ペットと一緒に避難するために、ペット用避難袋を用意しましょう」を掲載）した『仙台ペット連れマップ』を各所に配布し、通年でペットの防災の啓蒙活動を進めました。

⑤第7回杜の都の地域福祉セミナー 参加(パネル展示)

実施日：11/14 実施場所：仙台市福祉プラザ 従事者数：1名

内容：パネル掲示等を通じ、仙台市内の福祉関係団体等の活動内容等を紹介。

展示物：動物介在教育を受けた児童の感想文&絵（ラミネート加工）

児遊の杜訪問活動参加児童生徒の感想（ラミネート加工）

河北新報掲載「2009年度小学校AAE実施」記事（拡大カラーコピー）

エキューブパンフレット・ペット連れマップ

犬のぬいぐるみ・犬用防災避難袋

※他、動物管理センターからのチラシ・動物児童文学小作品集等も展示

《講演会・セミナー等の聴講》

第12回人と動物の共生を考える公開セミナー

実施日：2/11 実施場所：エル・パーク仙台 セミナーホール 参加者数：6名

5. その他、第3条の目的を達成するために必要な事業

本年度実施せず

# 運営に関する報告

人材の拡大・安定収入の確保のため、ホームページの随時更新や、各イベント時の会の紹介・広報活動等を行い、会員増や寄付金などの賛助協力を得ることができました。今年度は募金箱の設置や賛助会員の団体登録の制度を整え、事業の安定性を図るべく努力しました。また安全な活動・会員のスキルアップのために、定例会や各種打合せを密に行いました。

## 1. 通常総会の開催

### ■第3回通常総会

日時：2009年4月15日（水）15：00～ 会場：みやぎNPOプラザ  
議事：第1号議案 平成20年度事業報告及び決算の承認  
第2号議案 平成21年度事業計画（案）及び予算（案）の承認  
第3号議案 定款改定（賛助会員）の承認  
第4号議案 新役員の承認

## 2. 理事会の開催

■平成21年度第1回理事会 4/15 みやぎNPOプラザ 理事11名

議事：第1号議案 役員改選に関する件

■第2回理事会 2/6 みやぎNPOプラザ 理事7名・委任2名

議事：第1号議案 第4回通常総会に関する件

■第3回理事会 3/19 みやぎNPOプラザ 理事8名・委任2名

議事：第1号議案 平成21年度事業の総括  
第2号議案 平成22年度事業計画及び予算に関する件  
第3号議案 助成金に関する件

■第4回理事会 3/31 みやぎNPOプラザ 理事7名・委任3名

議事：第1号議案 平成21年度事業報告及び決算報告  
第2号議案 平成22年度事業計画及び収支予算案  
第3号議案 第4回通常総会に関する件

## 3. 定例会の開催

●第1回定例会 5/22 仙台市動物管理センター

議事：第3回通常総会の反省 新規事業及び関連セミナー 事業計画 協働事業  
訪問活動 仙台市総合防災訓練 事務局より 他

●第2回定例会 6/10 仙台市動物管理センター

議事：助成金対象事業の金銭面の計上と処理の仕方 みやぎ夢ファンド事業の規定と内容検  
討 かほく108ファンド事業の概要提案 新規事業協力団体への対応  
仙台市総合防災訓練 取材対応 他

●第3回定例会 6/19 仙台市動物管理センター

議事：みやぎ夢ファンド事業 かほく108ファンド事業 新規事業協力団体  
仙台市総合防災訓練報告 人と動物の検査 専門学校生の訪問活動実習  
協働事業「犬と遊ぼう」 訪問活動 他

●第4回定例会 7/1 仙台市動物管理センター

議事：みやぎ夢ファンド事業 かほく108ファンド事業 顧問獣医師との打ち合わせ  
報告 協働事業「犬と遊ぼう」 訪問活動 9月のセミナー開催 他

- 第5回定例会 8/18 みやぎNPOプラザ  
議事：みやぎ夢ファンド事業 かほく108ファンド事業 訪問活動 9月のセミナー開催  
動物愛護週間行事 オンラインわんフェスタ2009 わん育サロン 他
- 第6回定例会 9/16 仙台市動物管理センター  
議事：みやぎ夢ファンド事業 かほく108ファンド事業 オンラインわんフェスタ2009  
K9ウォーカーファミリー同窓会 動物慰霊祭と動物愛護講演会と展示会  
訪問活動 事務局より 他
- 第7回定例会 10/21 仙台市動物管理センター  
議事：みやぎ夢ファンド事業 かほく108ファンド事業 他
- 第8回定例会 12/25 仙台市動物管理センター  
議事：みやぎ夢ファンド事業 かほく108ファンド事業 検査費用
- 第9回定例会 12/28 仙台市動物管理センター  
議事：みやぎ夢ファンド事業 かほく108ファンド事業
- 第10回定例会 2/12 みやぎNPOプラザ  
議事：みやぎ夢ファンド事業 かほく108ファンド事業 支援金・物資依頼  
次年度事業計画 総会関連 他
- 第11回定例会 2/26 みやぎNPOプラザ  
議事：みやぎ夢ファンド事業 かほく108ファンド事業 支援金・物資依頼  
次年度センター協働事業 他
- 第12回定例会 3/19 みやぎNPOプラザ  
議事：みやぎ夢ファンド事業 かほく108ファンド事業 支援金・物資依頼  
次年度事業計画 総会関連 他
- 第13回定例会 3/31 みやぎNPOプラザ  
議事：みやぎ夢ファンド事業 かほく108ファンド事業 支援金・物資依頼  
次年度事業計画 総会関連 他

#### 4. セミナー受講

[市民・NPO×自治体] 協働対策セミナー「協働力パワーアップ3カ年計画をつくろう」  
実施日：2/10 実施場所：市民活動サポートセンター 参加者数：1名

#### 5. 会員について

平成21年4月 1日現在 98名（正会員87名（66世帯）、ボランティア会員11名）  
平成22年3月31日現在 98名（正会員86名（64世帯）、ボランティア会員12名）

#### 6. 事務局について

◎エーキューブ通信（活動のお知らせ・参加者募集・その他連絡事項の伝達）計8回発行  
活動のお知らせ・手順プリント等：参加会員向けに、今年度70回発行。  
その他、訪問施設や行政等への文書や、賛助協力者への礼状等、随時送付。

◎事務局体制について

理事長：齋藤文江

副理事長：村上淳子 佐々木ひとみ

理事・事務局長：照井浩子

理事・会計：千葉浩二

理事：川上喜恵美 渡邊圭子 桂陽子 後藤美佐 島田真須美 工藤梓

事務局員：林博子 土田明

## 収支報告

### 平成21年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人エーキューブ

平成22年3月31日

科目・摘要	金額(単位:円)		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金			
現金手許有高	75,482		
郵便振替(ゆうちょ銀行)	33,950		
普通預金(七十七銀行 加茂出張所)	292,005		
郵便預金(ゆうちょ銀行)	39,016		
立替金	550		
仮払金	-		
貯蔵品(切手類)	1,430		
流動資産合計		442,433	
2 固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計(A)			442,433
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
前受金			
H22年度会費	66,000		
預り金	-		
H22年度ボランティア保険料	-		
未払金	-		
流動負債合計		66,000	
2 固定負債	-		
固定負債合計		0	
負債合計(B)			66,000
<b>III 正味財産</b>			376,433

平成21年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人エーキューブ

平成22年3月31日

科目・摘要	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	440,453		
立替金	550		
仮払金	-		
貯蔵品(切手類)	1,430		
流動資産合計		442,433	
2 固定資産			
固定資産	-		
固定資産合計		-	
資産合計(A)			442,433
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	-		
前受金	66,000		
預り金	-		
流動負債合計		66,000	
2 固定負債			
固定負債	-		
固定負債合計		-	
負債合計(B)			66,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産(c')		486,336	
当期正味財産増加額(c'')		-109,903	
正味財産合計(C=c'+c'')			376,433
負債及び正味財産合計(D) (A)=(B)+(C)+(D)			442,433



平成21年度特定非営利活動に関わる事業会計収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

平成22年3月31日現在

<収入の部>

勘定科目	予算額	実績	差異	備考
会費収入				
正会員会費収入	100,000	118,000	18,000	59戸 × @2000
賛助会費	10,000	2,000	△ 8,000	
ボランティア会員登録料	2,000	7,000	5,000	14名 × @500
小計	112,000	127,000	15,000	
寄付金収入	0	82,156	82,156	
助成金対象事業収入				
河北108ファンド		200,000	200,000	河北新報社
みやぎNPO夢ファンド	0	160,000	160,000	
小計	0	360,000	360,000	
事業収入				
動物介在活動・介在療法・介在教育並び不登校に係わる事業	0	0	0	
動物の防災及び被災動物の救援に係わる事業	0	0	0	
人と動物の関係に係わる支援事業	0	0	0	
動物愛護普及啓発に係わる事業	0	0	0	
その他、第3条の目的を達成するために必要な事業	0	0	0	
小計	0	0	0	
預り金	96,200	0	△ 96,200	
保健衛生費	112,800	0	△ 112,800	
保険加入金	11,700	20,400	8,700	68名 × @300
受取利息	0	235	235	
雑収入	0	45,841	45,841	オンリーわんフェスタ2009物品売上 仙台市動物愛護協議会謝礼他
		0		
合計	332,700	635,632	302,932	
前期繰越収支差額	486,336	486,336	0	
当期収入合計	819,036	1,121,968	302,932	

<支出の部>

勘定科目	予算額	実績	差異	備考
事業費				
動物介在活動・介在療法・介在教育並び不登校に係わる事業		24,636		
通信費	5,000	11,980	6,980	AAAお知らせ郵送代
印刷製本費	10,000	2,168	△ 7,832	お知らせ印刷代
保健衛生費	112,800	0	△ 112,800	
消耗品費	20,000	10,488	△ 9,512	ペットシート ウエットシート代
動物の防災及び被災動物の救援に係わる事業		8,362		
通信費	3,000	4,810	1,810	防災訓練案内郵送代
印刷製本費	2,000	0	△ 2,000	
消耗品費	3,000	3,552	552	防災パネル展示用フック代
人と動物の関係に係わる支援事業		6,690	6,690	
通信費	6,000	80	△ 5,920	
印刷製本費	8,000	0	△ 8,000	
会議費	50,000	0	△ 50,000	
消耗品費	0	6,610	6,610	オンリーわんフェスタ景品代
接待交際費	3,000	0	△ 3,000	
動物愛護普及啓発に係わる事業		2,597	2,597	
通信費	1,000	400	△ 600	K9お知らせ郵送代
印刷製本費	1,000	0	△ 1,000	
消耗品費	5,000	2,197	△ 2,803	シッター用マスク代
その他、第3条の目的を達成するために必要な事業		0	0	
通信費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
小計	229,800	42,285	△ 187,515	

勘定科目	予算額	実績	差異	備考
助成金対象事業支出(みやぎNPO夢ファンド)		209,820		
通信費		22,180	22,180	9/2セミナー案内郵送代 3/16セミナー案内郵送代
印刷費		12,260	12,260	9/2セミナーチラシ印刷代 9/2セミナーテキスト代 3/16セミナーテキスト代
謝金		115,000	115,000	9/2セミナー講師謝礼金 3/16セミナー講師謝礼金 GFPアドバイザー謝金
会議費		13,000	13,000	9/2セミナー会場費 3/16セミナー会場費
消耗品費		25,200	25,200	GFP用ジャンパー代
旅費交通費		22,180	22,180	3/16セミナー講師交通費
助成金対象事業支出(かほく108)		286,989		
検査費		183,850	183,850	犬口腔内・腸内細菌検査代30頭
消耗品費		53,534	53,534	AAE用パネル代 消臭抗菌マット代 養生テープ代
印刷費		26,165	26,165	パネル用写真印刷代、12/25セミナーチラシ代
通信費		3,440	3,440	12/25セミナー案内郵送代
会議費		20,000	20,000	12/25セミナー講師謝礼金
			0	
小計	0	496,809	496,809	
管理費			0	
加盟団体会費	3,000	4,000	1,000	宮城野区社会福祉協議会 仙台市ボランティア連絡協議会
通信費	50,000	66,899	16,899	HPサーバードメイン代 携帯電話代 A3通信郵送代
事務用品費	10,000	40,389	30,389	プリンターインク代 コピー用紙代 事務封筒代等
印刷製本費	10,000	10,670	670	A3パンフレット印刷代 A3通信コピー代等
研修費	2,000	0	△ 2,000	
会議費	20,000	17,444	△ 2,556	総会資料郵送代 総会会場費等
支払手数料	2,000	960	△ 1,040	未使用ハガキ交換手数料 細菌検査代振込手数料
図書研究費	5,000	0	△ 5,000	
接待交際費	35,000	43,062	8,062	9/2、12/25、3/16セミナー講師お土産代 講師食事代等
雑費	0	300	300	
租税公課	0	17	17	
旅費交通費	0	2,300	2,300	オンラインわんフェスタ搬入・搬出駐車場代等
小計	137,000	186,041	49,041	
預り金	96,200		△ 96,200	
保険加入金	11,700	20,400	8,700	
寄付金	0	0	0	
	0	0	0	
小計	107,900	20,400	△ 87,500	
合計	474,700	745,535	270,835	
予備費	413,653	0	△ 413,653	
当期支出合計	888,353	745,535	△ 142,818	
当期収支差額	△ 69,317	-109,903	△ 40,586	
次期繰越収支差額	0	376,433	376,433	

## 平成21年度 監査報告書


特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、平成21年度（平成21年4月1日～平成22年3月31日まで）の特定非営利活動法人エーキューブの業務及び会計の状況について監査を実施しました。

監査の方法は、重要な会議の議事録その他の重要資料を閲覧するほか理事から事業の報告を聴取し、また会計の状況については証拠書類の閲覧、照合、質問などの合理的な補償を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令及び定款に違反する重大な事業はなく、平成21年度の特定非営利活動法人エーキューブの会計の状況は適切なものと認められます。

平成22年5月11日

監事

西山 純江 

監事

渡邊 努 

2009年度 寄付金・寄付物資ありがとうございました。

(順不同)

秋野 由利 様	今井 良香 様	柴内 裕子 様	仙台北法人会 様
デビフペット(株) 様	蜂谷 きよみ 様	針生 宜和 様	渡部 和枝 様
芦立 富佐子 様	飯田 明子 様	川上 喜恵美 様	川名 美恵子 様
菅野 武志 様	後藤 美佐 様	齋藤 文江 様	佐々木 ひとみ 様
高橋 知佳子 様	千葉 浩二 様	照井 浩子 様	永洞 和子 様
平野原 さやか 様	村上 淳子 様	渡邊 圭子 様	渡邊 努 様